

平成27年度第4回 流山市環境審議会 議事要旨

日 時： 平成27年10月5日（月）午後1時30分～3時30分

場 所： 市役所第2庁舎3階304会議室

出席委員：

新保國弘会長、赤坂郁美副会長、金森有子委員、朽津和幸委員、吉永明弘委員、和田まつゑ委員、村越弘行委員、秋元五郎委員、佐藤明委員、中村貴代美委員、和田登志子委員

欠席委員：

中大路早智江委員

事務局（環境政策・放射能対策課）：

古川環境部長、南雲環境部次長兼クリーンセンター所長

染谷環境政策・放射能対策課長、樋口環境政策・放射能対策課長補佐
片浦環境政策係長、宮田環境保全係長、遠藤主査、渡辺主任主事

傍聴者：2名

議 題：

- 1 路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例に基づく重点区域の指定について（答申案）
- 2 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について（答申案）
- 3 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- 4 その他

資 料：

- 1 路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例に基づく重点区域の指定について（答申）（案）
- 2 流山市地球温暖化対策実行計画の改訂について（答申）（案）
- 3 ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画（素案）
- 4 区域施策編 第2回改訂部会要旨（今後の論点）区域施策編
- 5 改訂部会 資料0～4

発言者	要旨
(議題1) 路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例に基づく重点区域の指定について(答申案)	
～事務局より答申案について説明。	
秋元委員	地図にある空白の施行予定日はいつか。
事務局	平成28年2月1日を予定している。
和田(ま)委員	喫煙所の設置については事務局に一任することになったが、必ず設置されると考えてよいか。場所がないなどで設置しない場合もあるのか。
事務局	できる限り設置する方向で考えている。
和田(ま)委員	よろしくお願いしたい。
新保会長	他に特段意見が無いようであれば、この案をもって答申としたいが異議は無いか。
～異議なし～	
事務局	10月14日10時より市長答申を予定している。
新保会長	前回(環境基本計画時)の答申は私と副会長で行ったが、他に参加希望があれば事務局に連絡してほしい。
(議題2) 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)について(答申案)	
～佐藤部会長より部会の概要説明。	
～事務局より内部調整により答申を延期したい旨説明。	
新保会長	今回の答申は延期となったが12月くらいの答申と考え今後作業を行うことになる。目標数値等の修正を行う箇所以外の部分承認の形を本日は行いたい。
和田(登)委員	市民としては計画書18ページのように何に取り組めばよいのかを知りたい。ごみの減量について記載の取組みを行えば1.8%の削減となると市は考えていると思っよいか。
事務局	削減量は複合的な要素からなっており、この取組みを行えば1.8%削減というわけではない。
金森委員	市民が出すごみの焼却量と施設のエネルギー使用量を別に見ることは賛成だが、この削減目標の見直しは廃棄物の

	方だけと考えていいか。
事務局	見直しの中心が廃棄物であるのは確かだが、その結果によっては、施設のエネルギーについてももっと見直しを行わざるを得なくなる可能性は否定できない。
金森委員	人口の増加率以上に廃棄物が増えてしまっているのであれば問題がある。人口当たりの原単位も増えているのか。国の 2030 年度目標値の 26% 削減はあくまで全体の総量であり、産業を除く民生家庭部門や民生業務部門などは 26% 以上の厳しい数字を削減しないといけないという事実は忘れないでほしい。
南雲次長	人口は増加しているがごみの処理量は横ばいで一人当たりの原単位は減少している。温室効果ガス排出量に影響を与える廃プラについては、容器包装リサイクルプラスチックの分別を行っているが引き取り先である協会の検査が厳しく品質の良いものしか資源化できない。数字で示すと一昨年度で 3,000 トンの内の 250 トン程度となっている。その後、啓発を進め今年度は 760 トンくらいの資源化はできそうな見込みとなっている。廃棄物については現在策定中の一般廃棄物処理基本計画でも処理量や資源化の数字を示していくのでこちらの計画であまり具体的などこまで踏み込まれると困るという状況もある。
新保会長	部会で廃棄物対策審議会の動きと合わせ議論しなおしてほしい。
古川部長	部会への情報提供と必要があればクリーンセンターの職員による説明なども検討する。
和田（登）委員	3,000 トンの内 250 トンしか資源化されていないということは初めて知った。多くの市民はこうした事実を知らないと思うのでこうしたことを周知して行ってほしい。
南雲次長	廃棄物対策審議会でも議論しているところであるが、負の部分も含めた多くの情報を周知していくことを考えている。
吉永委員	分別の効果、具体的に何をしたらどういった影響が出るの

	かを知らせてほしい。また逆にやっても効果が無いことについても知らせてほしい。例えば前回出た納豆容器の話もそうだが、細かい情報提供を願いたい。
南雲次長	容器包装プラスチック分別の開始時に自治会などに細かな説明を行ったが「汚いものをその他プラとして捨ててよい」としてしまうと多少の汚れのものでもその他プラに回ってしまう懸念があった。
和田（登）委員	そういったことをホームページなどで情報提供してほしい。
南雲次長	きれいにした物に汚い物が混ざることによって全部が資源化から外さざるを得ないケースもある。こういった周知啓発は行っているが、緩めてしまうとみんなが資源化ではなくその他プラに行ってしまう懸念がぬぐえない。
新保会長	これらは廃棄物対策審議会の検討内容なのでそちらでお願いしたい。
和田（登）委員	一つだけ。今日の廃棄物に関することは教育部門との連携を検討してほしい。小中学校でトレイ回収などを行えば、きれいなものが回収できると思う。
古川部長	必要があればクリーンセンター職員から別の機会に説明を行う。
新保会長	答申が12月になることは承認ということでよいか。
赤坂副会長	確認だが、平成28年6月くらいの策定・公表とのことだが、計画期間は平成28年度からという扱いになるということによいか。
事務局	そういう扱いになる。
新保会長	廃棄物等の数値に係る部分以外は大筋で承認ということでよいか。
～異議なし～	
新保会長	事務局には廃棄物対策審議会の情報提供を願いたい。
南雲次長	了解した。現行の一般廃棄物処理基本計画についても配布する。
新保会長	事務局が配布した資料について説明する。本資料は、事

	務局から二酸化炭素排出量のトン表示を、体積（立法メートル）に換算して、例えば東京ドーム何個分と説明できると庁内で理解を得やすいことがあると相談されたのを受けて、計算したものである。
吉永委員	東京ドーム換算は分かりやすいが、ドーム 303 個分は量が多いので、増加分、減量分などの最後の変化量をドームで表すのは良いかもしれない。
新保会長	体積換算は計画書に記載の必要はないが、理解を助ける手段として、コラム欄などでもし使う時には、重量と異なり、体積は条件（圧力や絶対温度）によって変わる性質を持つので、佐藤部会長、金森委員と事務局で表現方法や有効数字の取り扱いについて十分調整してほしい。
和田（登）委員	体積は 100% 二酸化炭素の場合という注釈を付けてほしい。
（議題 3）地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について	
～佐藤部会長より部会の概要説明。	
和田（登）委員	資料の国・県・市の二酸化炭素排出量の最新年度が異なるがこれはどういうことか。
事務局	国は既に 2013 年度を公表している。市は現在 2013 年度の算定を行っており、国の統計公表後に算定するので概ね 2 年半の遅れになる。県については現在確認できる公表値が 2011 年度だった。
赤坂副会長	資料 0 に「継続検討」の表記があるがこれ以外は決定したということか。
事務局	表記が揺れてしまっているが前回部会での決定事項はまだない。対象ガスや基準年など、特に部会に反対意見の無かった事項についても今後部会の決議としていただく予定である。
新保会長	答申までのスケジュール感はいかがか。
事務局	昨年度の予定では年度内に答申と申ししていたかもしれないが、平成 28 年度中の策定の最終期限は、パブリックコメントなどの手続きを考慮すると平成 28 年 10 月答申とな

	っている。しかし、これはあくまで最終なので、できるだけ早く議論を進め前倒しで進めたいと考えている。
(議題4) その他	
事務局	次回は議会等の内部事情で申し訳ないが12月8日(火)9時30分としたい。
欠席予定委員：和田まつゑ委員、赤坂副会長。(朽津委員は途中退席、中大路委員は本日欠席のため未確認)	